たつの市国際交流協会 with 総務生活常任委員会

実施日：令和６年１月18日（木）

たつの市国際交流協会の皆さま

テーマ　多文化共生と多文化理解について

【主な意見】
・保護者が外国籍の場合、学校で配られたプリントなどが理解できないので子ども達の家庭での教育に支障をきたす傾向がある。
・新宮に小中一貫校の学校ができるので、子ども達のルーツを尊重しつつ日本語教育に重点をおいたカリキュラムは作れないか。
・日本人の子ども達同様に、外国にルーツのある子ども達にも国内での進学の選択肢のはばを広げたい。

たつの市国際交流協会

市民の多文化についての理解と関心を高め、世界に開かれた魅力ある都市づくりと多文化共生社会の発展に寄与することを目的に、市民レベルの国際交流を推進する草の根ボランティア組織として、平成18年4月に「たつの市国際交流協会」が設立されました。各種講座やイベントなど市民参加による様々な国際交流事業を通じて、地域の国際化及び多文化共生社会の進展を目指し活動しておられます。

意見交換会 exchange of ideas

市政やまちづくりに対する率直な意見を市民の皆さまから直接お聞きし、議会として市政への政策提言等に反映させるため、意見交換会を開催しました。

たつの市集落営農連絡協議会 with 経済建設常任委員会

実施日：令和６年２月１日（木）

たつの市集落営農連絡協議会の皆さま

テーマ　たつの市の農業の現状と課題について

【主な意見】
・米づくりに化学肥料ではなく、醤油のもろみかすを更に発酵させて肥料にして使う取組をしている集落営農組合もあり、その成果として、収穫量も通常より増えている。
・集落営農では、男性よりも女性のほうが元気な方が多く、摘み取りも女性のほうが上手な場合も多いので、もっと女性が参加できる仕組みづくりが必要と思う。
・担い手不足の解消には、農業所得を上げ、規模を拡大し、従業員や社長にも一定の給料が出るようにできれば、人材も増えていくのではないか。
・国・県・市が力を合わせて農業を守り、育てていく。そのために知恵を出し合い、協力していくことが大事。

たつの市集落営農連絡協議会

本協議会は､たつの市内の営農組合間での情報交換や､行政・JAと協力体制を図りながら、地域の担い手として企業的な営農組合を育成するために、平成１９年に発足（現在は２５団体で構成）。営農意欲の向上や、収益・経営の安定性を高めるための研修等を実施され、たつの市の農業の活性化に取り組んでおられます。